

# 子の健康改善へ連携

陸前高田市の子どもの健康改善を目指すワーキンググループ「Bloom ing TAKATA(ブルイミングタカタ)」が21日、発足した。同市は肥満と虫歯が大きな課題。医師や子育て支援団体など幅広い分野の識者らが連携し、健やかな成長を守るための知識共有や情報発信に努める。

## 陸前高田



### は歯と満点重点 歯虫と満点重点 歯虫と満点重点

発起会を同市高田町の市コミュニティホールで開き、呼び掛け人の森山秀徳(県立大船渡病院小児科医長38)、吉田歯科医院(同市高田町)の吉田重之副院長(33)、父母ら約30人が出席。同市の子どもの健康状況を確認した。

森山さんは、東日本大震災後、小学1年、中学3年の子どもの肥満出現率が高くなったとの統計調査結果を紹介。吉田さんは昨年度、同市の3歳半の子の虫歯有病率が県内ワーストだったことを説明した。

同市の健康課題はほかに子どもの遊び場不足や震災遺児らの心のケアなど多岐にわたるが、専門家が不足し、連携できずにいた。

「Bloom」は英語で「花」。グループ名には「健康に育ち、

参加者に陸前高田市の子どもの健康や子育て環境について説明する森山秀徳医長(左)

陸前高田で花を咲かせ「子どもの健康のため。してほしい」との願いが改善できる点には協力込められた。今後、学習会や住民参加型勉強会、インターネットを活用した情報発信などを展開し、支援ネットワーク構築を目指す。森山さんは「全ては1)へ。

子どもの健康のため。改善できる点には協力しながら対策を取らなければならぬ」と決意を新たにする。

入会希望の団体・個人は市健康推進課(0192・54・2111)へ。